

◎ 会員だより

契約をしないと工事が始まらないことから、入札契約に関する知識は事務系職員だけでなく現場の技術系職員も知っておくべきことだと思います。9月号からの「基礎から学ぶ入札契約」は是非、現場の技術系職員にも読んでほしいと思いました。
匿名希望

8月号の「特集（令和元年度表彰）」の全建賞受賞事業の中に、町で受賞されている自治体がありました。私は市職員ですが、全建賞受賞も夢ではないと心強く思いました。
渡部敏裕（市町村勤務、56）

9月号の「ひろば」の「国土交通白書の概要」は業界が置かれている現状を理解するために、非常に興味を持ち読ませていただきました。月刊「建設」を継続的に読んだことが、技術士の資格取得に大いに役立ったことを改めて感じました。
匿名希望

8月号の大石会長の「上徳不徳」の「国債の回り方」を読んで、どの国も国債を活用して景気回復、インフラ整備、経済発展できるのでは、と思ってしまうのですが、これは自国で通貨発行権のある国でないと成り立たないというのがポイントだと思いました。建設国債を活用して災害に強い国土づくりに努め、日本の信用を維持してなくてはならないと強く感じたところです。
匿名希望

9月号の「後輩技術者に向けたメッセージ」の「公務員技術者に求められる技術力とは」がとても良かったです。自分も高い技術力を持った公務員技術者を目指していきたいです。ありがとうございました。
匿名希望（都道府県勤務）

毎号、「表紙」のデザインの工夫を感じています。9月号の表紙写真は予想外でした。
匿名希望（地方整備局勤務、49）

月刊「建設」では技術系公務員の志の高い人の話を聞くことができ、モチベーションが上がります。
匿名希望（市町村勤務、45）

9月号は「表紙」のダムカレーのインパクトが凄く、特に女子職員の評判が高かったです。（笑）
匿名希望（市町村勤務、51）

「災害査定留意点」は、査定までの限られた時間で申請しなければならぬ中で役立っています。継続して多様な事例を掲載してほしいです。
匿名希望

9月号の「巻頭言」の「土木広報するなら、まずは家族から」は興味深かったです。自分も家族に「自分の言葉」、「生きた言葉」で自分の仕事を語って、しっかり土木の魅力を伝えたいと思いました。
匿名希望（都道府県勤務、47）

会計検査の連絡が入りました。これまでの「会計検査情報」の連載を読み直し、気を引き締めて受検したいです。
匿名希望（都道府県勤務、47）

9月号の「特集」は「インフラの魅力が伝わる広報へ」でした。市民と根強く結びつくインフラ整備が、市民の方々に愛されることはとても理想的だと思います。「巻頭言」の広島県の「宮口地区のまちづくり」ように地元から、来客から愛されるようなインフラ整備を目指したいです。
匿名希望

「事例から学ぶ現場力の向上」は原因や対応策の解説がわかりやすく書かれていて、毎回ためになっています。
匿名希望

9月号の「特集」の「ダムを活用したインフラツーリズムの取り組み」を読んで、熊本地震からの復興も取込み、企業や自治体と連携して取り組みを行っていることに興味を持ちました。
匿名希望（都道府県勤務、26）

昨年、全建の実地研修会で東日本大震災の復興事業を見学しました。ただただ胸が熱くなりました。松村公介（都道府県勤務）

9月号の技術士の「技術資格合格体験記」を読みました。勉強した知識は無駄にはならないので、さっそく問題集を購入し自分も挑戦しようと思いました。
匿名希望（市町村勤務、29）

コロナの影響により、講習会や実地研修などの中止により、知識及び技術力向上の機会がなくなっているのが寂しいです。
國司哲也（市町村勤務、47）

建設系公務員賠償責任に関わる事例を特集してください。
牛嶋 久（都道府県勤務、44）

◎ 「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail:kensetsu@zenken.com

